



2023年7月26日

各位

会社名 四国化成ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 充範
(コード番号:4099 東証プライム)
問合せ先 取締役 企画管理担当 安藤 慶明
(TEL. 0877 - 22 - 4111)

業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年1月27日に公表した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2023年7月26日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年6月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議するとともに、2023年12月期の期末配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年12月期 連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	64,000	6,500	7,000	4,900	92.86
今回修正予想 (B)	63,000	7,500	8,300	6,800	131.64
増減額 (B-A)	△1,000	1,000	1,300	1,900	
増減率 (%)	△1.6	15.4	18.6	38.8	

(2) 修正の理由

売上高については、電子材料分野や建材分野の市況低迷により当初の計画値を僅かに下回る見通しとなりました。

一方、営業利益については、為替相場の円安基調により想定為替レートを修正したこと（前回125円/米ドル、135円/ユーロから、今回135円/米ドル、150円/ユーロ）や、輸出に係る販売運送費の正常化等により計画を上回る見通しとなりました。

また上記に加え、営業外収益では為替差益の発生が見込まれ、特別利益では政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益の発生が見込まれることから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても計画を上回る見通しとなりました。

注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されております。

実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年1月27日発表)	前期実績 (2022年12月期 中間)
基準日	2023年6月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	14円00銭	13円00銭	13円00銭
配当金総額	711百万円	—	687百万円
効力発生日	2023年9月5日	—	2022年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2023年1月27日)	13円00銭	13円00銭	26円00銭
今回修正予想		14円00銭	28円00銭
当期実績	14円00銭		
前期実績 (2022年12月期)	13円00銭	13円00銭	26円00銭

（3）理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置付けており、中長期の視点から適正な利益を確保しつつ、業績に裏付けられた成果配分を安定的に行うことを基本とし、さらに2030年度に至る長期ビジョン「Challenge 1000」の期間中においては、「連結業績を基準として、配当性向30%、総還元性向50%」を目指すこととする株主還元の基本方針を定めております。

「1. 業績予想の修正について」に記載のとおり、2023年12月期の業績は従来予想を上回る見通しとなったことから、上記方針に則り、中間配当につきましては直近予想から1円増配し1株当たり14円といたしました。

また、期末配当予想につきましても、同様に直近予想から1円増配し、1株当たり14円とさせていただきます。これにより、2023年12月期の年間配当予想は、1株当たり28円となります。

以 上